

酷暑2025で一人三役脳内会話もついにダウン!?

次回にすべて持ち越し

「日本サルベージの祖」周南市櫛ヶ浜の村井喜右衛門さん

江戸時代に民間人が国際問題を解決！ 天地成行あり方委員会

こんにちは、こんばんは、おはようございます。

天地成行です。今回の、一人三役脳内会話「天地成行あり方委員会」

成行あり方委員会

は、うまくいきません。きれいに作りすぎようとしてだめなのかもしれない。資料も読み込めず、天から「こう書きな

され」という啓示もなく……。しかし、読者のみなさんにはご無沙汰をしているわけであります。読み物としての「天地成

行あり方委員会」として、御霊から「できているところまで作って、あかんとこはあかんとこ」と言っておいて安溪先生に委ねては？ というヘンテコな啓示がきたようです。というわけで関係者の方



周南市立中央図書館にある村井喜右衛門さん関係の資料。写真⑤がエライザ号

には「この江戸時代の村井喜右衛門さんを紹介してほしい。彼の偉業を称える面白い文章を！」という意図とはかなり矛盾がある段階かもしれないが、もしこれが掲載されれば続編期待の意味も込められていて思っている切っ掛けで制作だけしてみます。よろしくお願ひします。(以下次頁につづく)

文献をほぼ読めずに 迷路に入ったABC



ぼくんち、キエモン！？
未完成編

天地成行C…あー、この漬物うめーな。おいBよ、こりやガキの時に食べていた「うまもん」をおもいだすな。

天地成行B…はい、うまいですね。「ぼくんち、うまもん」。ちなみにあのテレビCMにでていた兄弟は、旧・徳山市立岐山小学校で同級生でした。一人の裕之くんとは、苗字も近くて、一文字だけ違いというご縁がありましたねー。

天地成行C…そうだったそ

村井喜右衛門さんに関する小説も
その名も「ちえもん」松尾清貴著

うだつた。わたしら昭和49年生まれだから、小学生の時、昭和55年あたりから。

あのころさー、ランドセルを家において、それからすぐさま社宅から、外の公園でみんなと遊ぶのかとしていたら、テレビは『笑っていいとも』でさ、午後の四時に「♪お昼やすみは、ウキウキウオツチング〜」って流れてきていた。山口県は民報テレビ局が当時2局で、フジテレビ系がないから、違うチャンネルで午後の四時から流していたけど、そんな大人の事情は知らなかった。じゃけー、「東京って大変だなく、わしらが遊ぶ時間にまだ昼休みなんか。働くの」って思っていたどー。

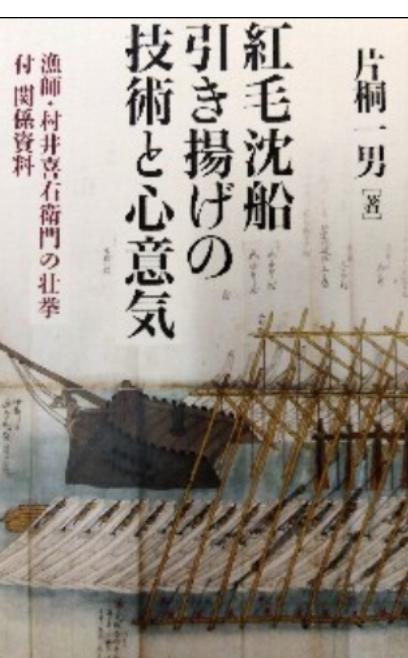
天地成行A…はいはい、C

さんにBさん。今回は正式にわれわれにお仕事の依頼がきましたよ。「日本サルベージの祖がここ周南市櫛ヶ浜にいらした案件」です。端緒につけないのですか？ 特にいづもえばっているCさん。

和50年生まれとWIKIにありました。こちら。Aさんがいう沈没船の引き揚げ作業のことは「サルベージ」でしょ！ その日本での始まりとされるのが、今回の一七九八年の寛政の時代に長崎であったこと。それを櫛ヶ浜の村井喜右衛門さんが成し遂げた、という話ですよ。日本赤十字社の前身・博愛社が一八七七年に設立、数十年前のことになるみたいです。Cさん、ふざけてる場合ではないですよ。ぶんぷん。

しは神がかりのC…：うーん、それなんだよな。今回は、周南市櫛ヶ浜の村井喜右衛門（むらい・きえもん）さんだ。一七九八年に毛利のお殿様の命で長崎でイワシの漁業と商売をしていた方が、オランダ船「エライザ号」が座礁して沈没したのを、奉行さんが呼びかけてもだれも引き上げられないところを、この村井さんが「ちえもん」として見事引き揚げた。ペリーの著書にも「キエモン」という記述があること、それに周南市にあった鳴鳳館という藩校で1800年代に蘭方医学が270の全国の藩の中でいち早く徳山藩で導入されていたこと。櫛ヶ浜は徳山藩にいまは行政としては入るが当時は萩藩直轄地。しかしなにか関係深そうだな、などいろいろこの間実は取材はしたり、文献の読みつなぎもしたわい。大橋広宣さんの「まるごと周南」での特集もみたで。じゃがなー。

天地成行A、B…どうしたのCさん？



村井喜右衛門さんの研究の第一人者である
青山学院大名誉教授の片桐一男さんの本

天地成行B…それは「サウダージ」！ ちなみに「哀愁、憧憬、思慕」という意味らしいよ。ちなみに二人組の通称「ポルノ」は広島県因島出身。（八朔で有名ですね）天地成行とほぼ同級生の昭

天地成行C…そんなに怒らないのBさん。さすがの分析班で解説係のB。わ

地元郷土史会の佐伯伸治さんが
作成した村井喜右衛門さんの話

天地成行C..徳山駅でやめたり、新山口駅でやめたり、体調が整わなかったりで導かれなかったんじゃないや。

天地成行B..そうかー。それで、導かないから、村井喜右衛門さんだったという訳？

天地成行C..ここが実はみそだと思う。徳山藩の歴史を考えた時に、個人的にこれまで、徳山毛利藩の母の周姫、それから三代・元次公の時に徳山藩改易を救った、奈古屋里人（なごや・さとんど）さんを扱った。この掘り起こしは、安溪遊地先生（山口県立大学名誉教授II地域学）にお褒めをいただいた。この締めが、七代藩主ころの「日本サルベージの祖」村井喜右衛門さんだとわしは思う。徳山藩の歴史を考えると、当地でこんな素晴らしい方たちがいた！ということ一度東京で新聞記者をした旧徳山市生まれの、天地成行的にわかりやすく「くだいて」理解してもらう活動は尊いのだ。と思ったが、村

井喜右衛門さんの櫛ヶ浜は萩本藩の直轄地であるわけだ。いろいろ複雑である。

天地成行B..まじめじゃー、Cさん

天地成行C..それだけに、なんというか、今回はうまくいかん。完結編に近いからのー、長州藩の中の本藩と、徳山藩のことについて。もちろん、小野の取材も込みなんで・・・とにかく統合失調症には荷が重いのじゃー。

天地成行A..そっかCさん。負担かけたね。ならば、今回の記事は、これはこれで、掲載しちゃおうよ。そんないい加減さもこれからのぼくたちには必要さ。

天地成行C..（だばー、と泣く）あ、ありがとうAよ。今回はこれで放出させて一回頭の中を0にするよ。「諦めて寝るお月さんがきれい 天地成行」

天地成行B..僕は鬱特性だ

からよくわかる。「大波」の時は泣いて寝るに限る。

はた、と困ったのです

ねCさん。はた、といえ
ば旗。今回の村井喜右衛門さんがテーマの「天地成行あり方委員会」はやる気が充満しすぎたんですよ。確かに櫛ヶ浜市民センターで市役所の方とアツク話し込んでいた取材の時に、Cさんが一番びっくりする「緊急地震速報」が流れ出しました。あれって、土地の御霊が「Cよ、がんばって取材してくれ」と言っていたのでは？とわたしは思いました。それで、わたし分析班・学習班として「助け舟」になるかわかりませんが少し……。

『長州、馬関発 ナゾと推論』（岩下直行著、山口新聞社）の情報です。東京六大学野球で慶應義塾が勝つと流れる校歌の中に「見よ、風に鳴るわが旗を」で始まる荘厳な文語調の歌詞。あれは慶

應義塾の旗ではなく「出島のオランダの旗」ということを書かれています。

福沢諭吉塾頭（福翁）が、慶應4年に江戸城を無血開城したあとでも、彰義隊が官軍と戦闘し、江戸が騒然となり黒煙があがる中でも授業を行ったという。オランダがかつてフランスに一時占領されたときも、唯一長崎・出島だけはオランダ国旗がゆうゆうと風になびいていたという。その気概をもつて、福翁は歌詞に刻んだのでは？ということだよ。

なぜ出島のオランダの旗を下ろさずに頑張れたのか。オランダの人々の「堅忍不拔（つらいことに負けず、がまん強く心を動かさないこと）」。それはもちろんあっただろう。

しかし何より力になったのは我々の先輩日本人々の助けなのだ。その中心にあったのが村井喜右衛門（きえもんさん）のエライザ号引き上げにほかならない。商館長ヘンミは旅先で死に、出島は火事で丸焼け。ナポレオン戦争のあおりで船の行き来はままならない、

そのタイミングで棹銅、樟脳を満載して船出した傭船エライザ号の遭難は泣きつ面に蜂だったんだ。八方塞がりとは正にこのこと。そんな暗闇に光を差し込ませたのがきえもんさんさ。オランダは感謝感激し、ヨーロッパにも話は伝わる、エライザ号のふるさと・ニューイングランドのピーボディエセックスミュージアムにも嵐の中のエライザ号の絵があるという。

ごほごほ、このくらいにしとこ。

天地成行A..はい、今回の一人三役脳内会話「天地成行あり方委員会」はここまで。この記事はうまくいけば、村井喜右衛門さんの関係者も眠る、原江寺（シャンティ国際ボランティア会）と日本赤十字社を紙面で結ぶ貴重な会になりそうだから、Cさんが楽になるまで休会します。ここからだと御縁を大切に。

天地成行C..おおAよ、B

よ。みなありがとう。わしはみんなに支えられて生きていられるぞよ。必ずや、この村井喜右衛門さんの、「天地成行あり方委員会」をきちんと次回に完成させる。感性に任せては寛政の時代のことはできなかった。しかし、ユーモアを交えた、みなが村井喜右衛門さんの偉業をわかりやすく伝えるこの役目を達するに、この「成行論法」も今の世に必要なのじゃ。これをうまく○×▽◇……。

天地成行A、**B**..はよ、寝なさい。

（今回のあり方委員会で訂正事項があります）

1 オランダ船 ↓ チャーターされたアメリカ船

ナポレオン戦争のあおりでオランダの船はイギリスに拿捕（だほ）されるのでアメリカ船を雇った。エライザ号はニューイングランドのセーラムの船

2 毛利の殿の命？

福川の漁師と揉めてやむなく長崎方面に活路を見出したようです。（資料等協力…佐伯伸治さん）